

姫路で見る 2022年9月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



9月15日 21時の空
※月は書いていません

少しずつ秋の気配を感じ始める頃ですが、夜空にはまだ夏の星座たちが輝いています。空高くには、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結んでできる「夏の三大角」が見えています。ベガが七夕の織姫星、アルタイルが彦星です。夏の三大角はだいたい12月頃まで夜空に輝いているので、まだしばらくは出会うことができます。南西の空低くにはさそり座のアンタレスが輝いており、さそり座の東にはいて座の星たちも見えています。

東の空には秋のシンボルとなる「秋の四辺形」が昇ってきています。秋の四辺形はペガサス座の胴体の部分です。秋の四辺形から南へ目を移すと秋の星座の中でたったひとつの一等星、みなみのうお座のフォーマルハウトが見つかります。

更に、明るい星が少ない秋の星座たちの中で、ふたつの惑星が夜空をにぎやかにしています。南の空に土星が、東の空には木星が明るく目立っています。この秋が観望の好機です。